

例7) 結婚に関して障っている方へのお詫び

①『光の主神様』に対するお詫びと祈り

- 5 『大宇宙の総ての総ての創造主 大元の光の主神様』私は心が満たされる女性に巡り逢えず、孤独な人生で苦しんできました。
- 現在、肉体を戴いていて前世を思い出すことは出来ませんが、きっと障っている方に同じような、寂しく、悔しい思いをさせてきたのでしょうか。
- 真に、申し訳御座いません。どうぞ、お許し下さい。
- 10 これからの人生を、この方とも一緒に『真理＝神理』を世界に遍く弘めさせて戴くために『光の主神様』の手足として、沢山にお使い賜れますよう、謹みて、お願い申し上げます。

② 憑霊に対するお詫び

- 15 私の結婚に関して障っていらっしゃる皆様、私が今世において、心が満たされる女性に巡り逢えず、孤独な人生で苦しんで来たのは、現在、肉体を持っていて前世を思い出すことは出来ませんが、きっとあなたを裏切って来たのでしょうか。
- 誠に、申し訳御座いませんでした。どうぞ、お許し下さい。
- あなたが一日も早く『光の主神様』にお許し戴けて、『真理＝神理』を世界に遍く弘めさせ
- 20 せて戴くために『光の主神様』の手足として、沢山にお使い賜れる、清き高き魂として、昇華のお許しを戴けますよう、謹みて、お祈り申し上げます。

③『光の主神様』に対して憑霊の救われを祈る

- 25 『大宇宙の総ての総ての創造主 大元の光の主神様』私の結婚に関して障ってこられた方々の罪穢をお許し下さい。
- そして、この方々に尊きみ光と改めて幽界での修行の場をお与え下さい。
- そして、一日も早く、一刻も早く、『真理＝神理』を世界に遍く弘めさせて戴くために『光の主神様』の手足として、沢山にお使い賜れる、清き高き魂として、昇華のお許しを賜れま
- 30 すよう、謹みてお願い申し上げます。